

公共下水道事業の工事請負契約  
締結など9議案を承認・可決

第4回市議会臨時会

七月二十四日、第四回市議会臨時会が開かれ、公共下水道にかかわる工事請負契約締結など提案された九議案を審議。全議案を承認・可決しました。

**承認・可決された主な議案**

●白根市一般会計補正予算(第四号)  
|| 専決処分  
既決の予算に、百六十二万三千円を追加して、予算総額を百二十億二千七百三十三万五千円としました。台風6号の影響で局地的な豪雨が、それに伴う内水被害防止のための排水ポンプの借り上げ料や、市街地排水ポンプ場施設の修繕工事費などを計上したものです。

- 白根市公共下水道事業公下第14-1号汚水幹線1号174管渠布設工事請負契約の締結  
契約業者は福田・安達・渡幸特定共同企業体で、契約金額は一億五千八百七十六万円です。
- 白根市公共下水道事業公下第14-101号白根中央浄化センター汚泥処理機械設備工事請負契約の締結  
契約業者は三菱化工機(株)新潟営業所で、契約金額は三億四千四百四十万円です。
- 白根市公共下水道事業公下第14-102号白根中央浄化センター汚泥処理電気設備工事請負契約の締結  
契約業者は(株)安川電機新潟営業所で、契約金額は二億六千四百四十五万円です。
- 白根市公共下水道事業公下第14-105号北部中継ポンプ場電気設備工事請負契約の締結  
契約業者は、(株)東芝新潟支店で、契約金額は二億六千八百八十五万円です。
- 白根市公共下水道事業公下第14-107号大通黄金中継ポンプ場電気設備工事請負契約の締結  
契約業者は、明電舎・石澤電機工業特定共同企業体で、契約金額は一億五千三百三十万円です。
- 白根市一般会計補正予算(第八号)  
既決の予算総額に六百六十五万五千円を追加して、予算総額を百二十億三千五百三十九万九千円としました。補正の内容は、今後の内水被害などに備えるため、必要な排水ポンプの借り上げ料等を計上しています。

任意合併協議会関係の補正予算など  
2議案を承認・可決

第5回市議会臨時会

八月八日、第五回市議会臨時会が開かれました。臨時会では、新潟市などの任意合併協議会の参加負担金を計上した一般会計補正予算を可決。そのほか専決処分として一議案を承認しました。

**可決された主な議案**

●白根市一般会計補正予算(第七号)  
既決の予算額に七百七十五万六千円を追加して、予算総額を百二十億四千二百七十九万五千円としました。

補正の主な内容として、総務費では、新潟市と豊栄市、西蒲五町村とで設置する合併問題任意協議会への参加を申し入れたことに伴う負担金や、今後合併問題に関するシンポジウムを開催するための経費などを、広域行政推進費の項目を新たに設定し、計上しています。

教育費では、年々老朽化が進む教育委員会庁舎で、渡り廊下のモルタル部分が落下したことに伴い、コンクリートの落下防止ネットを設置するための工事費を計上しました。

農産物の積極的なPRを要望

八月五日、「知事とのふるさとを考える集い」が、カルチャーセンターで開催されました。この集いは、知事と住民が意見交換することで、地域の実情を把握し、県政に反映させる事を目的に行われました。

当日は十人の住民が発言し、農業に関しては「ぜひ知事からも農産物の積極的なPR活動を期待したい」との意見がありました。これに対して平山知事は「宣伝下手な新潟から脱却して、積極的に農産物のPRに努めたい」と答えました。

このほか、「学校図書館の充実」や「高齢者福祉対策の充実」などの意見交換が行われました。

秋の夜長健康づくりしませんか

多目的広場グラウンド野外照明点灯式



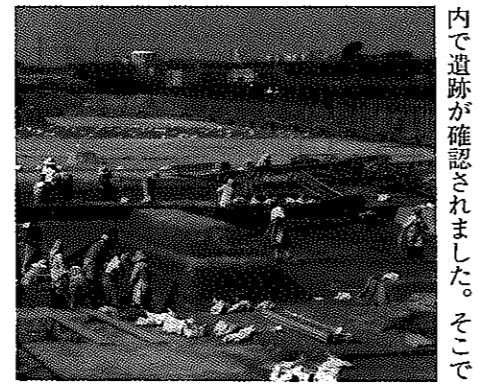
八月十日、カルチャーセンター隣多目的広場グラウンドで、野外照明の点灯式が行われました。式では、吉沢市長が「ぜひこの施設を、生涯スポーツとして手軽にできるジョギングなどに利用していただき」とあいさつしました。

当日参加した市民からは「明るいののでタイムを計りながら夜間練習ができる」「これからは家族そろって気軽にウォーキングがしたい」などと話していました。

照明は、ナトリウム灯四器ずつを二カ所に設置。四月から十月末日までの、日没から午後九時三十分まで点灯します(雨天時は除く)。

中世の人々が遺した物

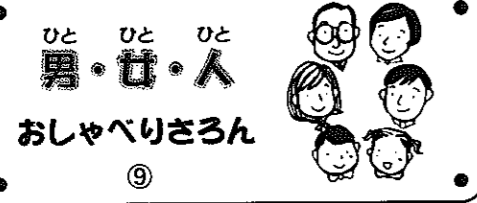
浦廻遺跡発掘調査



白根バイパス工事に伴い、戸頭地内で遺跡が確認されました。そこで五月末から、県教育委員会の委託を受けた(株)新潟県埋蔵文化財調査事業団が発掘調査を行っています。

浦廻遺跡と名付けられたこの遺跡は、室町時代のもと考えられています。これまでに木簡(文字の書いてある木札)や下駄、人骨など多くの遺物が出土。人の足跡もあることから、当時の人々が活動していたことは確かですが、建物の跡が見つかっていないため、ここで生活していた可能性は低いと推測されています。

この調査は十月まで続けられる予定です。



女であることの  
損と得(3)

今回は、女性であることの「損」を、労働や社会生活、家庭生活の面から考えてみました。今回は「性」にかかわる行動や意識の面から「損」を考えてみましょう。

★年に一度の…

2月14日のバレンタインデー。女性から男性にチョコレート贈るセレモニーがあちこちで見られます。義理チョコに本命チョコ…、保育園児から年輩者に至るまで、日本中チョコレートが飛び交います。不思議な光景です。それはともあれ、この日ばかりは、女性から男性に愛を告白してもよい日であるとされ、その形としてチョコレートを贈ることになっているようですが、疑問を感じませんか? なぜこの日以外は、女性から愛を告白することがタブーなのでしょう? これはチョコレート以上に不思議なことです。

★男はOK? 女はNG?

しばしば男性が性体験を誇らしげに語る場面に遭遇します。男性が性体験の多さを語ることは、ある意味で「自慢」と受け取られるようです(しかし、多くの女性は異なる受け取り方をするでしょう)が、それに対し、女性が性体験の多さを語ったらどう思われるでしょうか。「はしたない」と軽べつされるのがオチでしょう。

★重すぎる価値観

性に関する行動や意識において、女性は常に受動的でなければならない、または受動的であることが美德だとされています。この価値観は、わたしたちの暮らしの中に深く、深く根を下ろし、女性に性に関する問題を表面化しようとするときに、それを妨げる大きな見えない圧力となっています。女性が性犯罪の被害にあっても、泣き寝入りするケースが大半なのは、まさにこの「性」に対して女性は常に受け身であるべき、という価値観に押しつぶされているからです。女性の「損」を泣き寝入りで終わらせることのないような社会を目指したいですね。

「おしゃべりさん」は白根学習館ホームページでもご覧いただけます  
(http://pc2.gakushyukan-shirone-unet.ocn.ne.jp)